

海外初の路面店
台湾にうどん店

1号店をオープン

(有)たも屋

四国を中心に本場讃岐うどんの専門店を展開する「(有)たも屋」(高松市春日町 黒川保社長)は10月21日、海外初の路面店となる、たも屋台湾1号店「屏東太平洋店」をグランドオープンした。同社が海外に出店するのは、シンガポール3店舗、インドネシア1店舗に続く、5店舗目。観光名所がある屏東(ピントン)は台湾の最南端に位置。10月15日のソフトオープンからグランドオープンまでの期間、来店客ら二千を超が訪れる盛況ぶり。グランドオープンでは黒川社長が手打ちのデモトレーニングを披露した。

現地には日本国内で使用している小麦粉とだしを輸送し、本場のコシと味を再現。メニューは日本国内の店舗と同様、うどんと天ぷらを提供する。



また台湾のオリジナルメニューには、豚骨うどんと味噌うどんを用意している。セルフサービス。

このたび、同社のアジア、北米地域におけるエリア本部「ジャパンフードカルチャー」(本社・シンガポール 吉閑昭彦代表)が、台湾の現地パートナーとFC契約を締結。2015年12月末までに台湾での6店舗の出店が決まっている。2019年までに50店舗の展開を目指す方針だ。